

みずほ新興国クォーターリー

みずほリサーチ&テクノロジーズ

2024年12月27日

ともに挑む。ともに実る。



《 目 次 》

概況	P 2	ブラジル	P 15
中国	P 3	メキシコ	P 16
韓国	P 4	経済指標・参考資料	P 17～19
台湾	P 5	担当者一覧	P 21
香港	P 6		
シンガポール	P 7		
インドネシア	P 8		
タイ	P 9		
マレーシア	P 10		
フィリピン	P 11		
ベトナム	P 12		
インド	P 13		
オーストラリア	P 14		

概況～中国は減速、その他アジアは輸出増や利下げに支えられ回復基調を維持

- 中国は、2024年は輸出主導で5%近傍の成長を維持。2025年はトランプ関税による下押しもあり4%台前半へ減速
— 不動産市場の調整継続のもと内需は伸び悩み。トランプ新政権の追加関税は2025年のGDPを▲0.2%Pt下押し
- アジアの輸出依存国は、貿易摩擦による米中景気の減速が逆風も、電機輸出にけん引され回復基調が続く見込み
— AIブームを背景に先んじて回復していた韓・台・星に加え、馬・泰・越でも電子機器などの輸出が持ち直し
— 米中景気の減速は輸出の下押し要因となるも、対中関税による中国からの代替輸出促進が影響を一部相殺
- 内需依存国は、印・尼は投資に支えられ底堅い。比も利下げで持ち直し。豪はインフレ高止まりで低迷長期化

新興国見通し総括表

	2022年	2023年	2024年 (見通し)	2025年 (見通し)	2023年				2024年		
					1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9
アジア	4.1	5.3	5.0	4.6	4.5	5.9	5.2	5.7	5.6	5.1	4.7
中国	3.0	5.2	4.8	4.2	4.5	6.3	4.9	5.2	5.3	4.7	4.6
NIEs	2.3	1.4	2.9	1.7	▲ 0.1	1.1	1.6	3.0	4.1	3.2	2.8
韓国	2.7	1.4	2.1	1.6	1.1	1.0	1.4	2.1	3.3	2.3	1.5
台湾	2.7	1.1	4.1	1.7	▲ 3.5	1.5	1.6	4.7	6.6	4.9	4.2
香港	▲ 3.7	3.3	2.5	2.3	2.8	1.6	4.2	4.3	2.8	3.2	1.8
シンガポール	3.8	1.1	3.2	1.9	0.5	0.5	1.0	2.2	3.0	3.0	5.4
ASEAN5	6.0	4.4	4.9	4.8	4.6	4.1	4.3	4.5	4.6	5.2	5.1
インドネシア	5.3	5.0	5.0	4.8	5.0	5.2	4.9	5.0	5.1	5.0	4.9
タイ	2.5	1.9	2.4	2.9	2.6	1.8	1.4	1.7	1.6	2.2	3.0
マレーシア	8.9	3.6	4.9	4.5	5.5	2.8	3.1	2.9	4.2	5.9	5.3
フィリピン	7.6	5.5	5.6	5.8	6.4	4.3	6.0	5.5	5.8	6.4	5.2
ベトナム	8.1	5.0	6.4	6.2	3.4	4.2	5.5	6.7	5.9	7.1	7.4
インド	6.5	7.7	6.5	6.4	6.2	8.2	8.1	8.6	7.8	6.7	5.4
オーストラリア	4.1	2.0	1.1	1.6	2.8	2.0	2.2	1.2	1.2	1.1	0.9
(参考) NIEs + ASEAN5	4.6	3.3	4.1	3.7	2.8	2.9	3.3	4.0	4.4	4.4	4.2
(参考) 中国を除くアジア	5.7	5.5	5.3	5.1	4.6	5.6	5.7	6.2	6.1	5.6	4.8

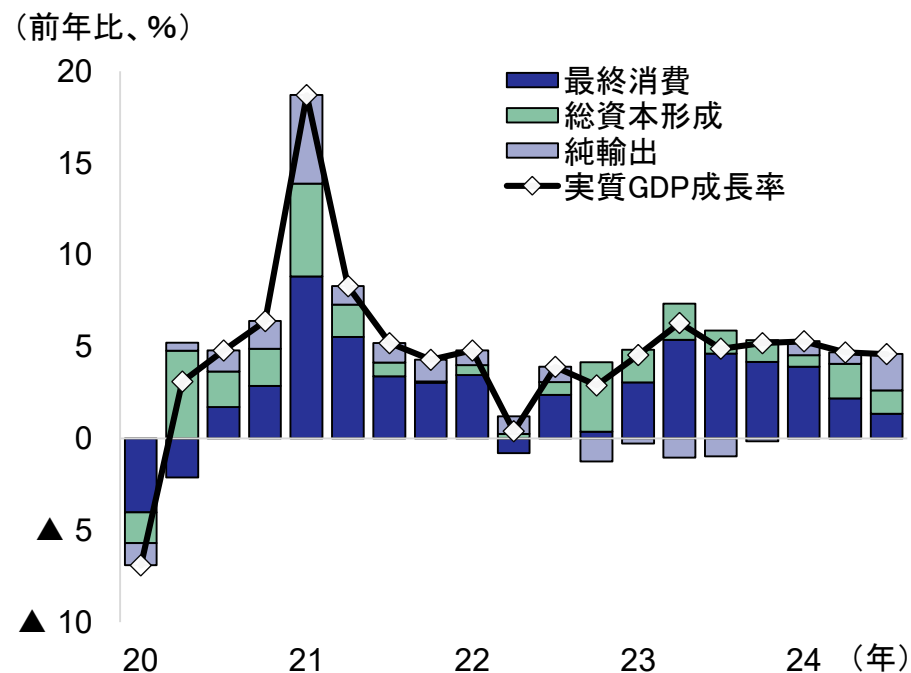
(注) 実質GDP成長率(%)、網掛け(青)は予測値。平均値はIMFによるGDPシェア(購買力平価ベース)により計算。四半期数値は、前年比(%)

(出所) 各国統計、IMF等より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成(各数値は12月18日時点)

中国【2023年+5.2%、2024年+4.8%（予）、2025年+4.2%（予）】

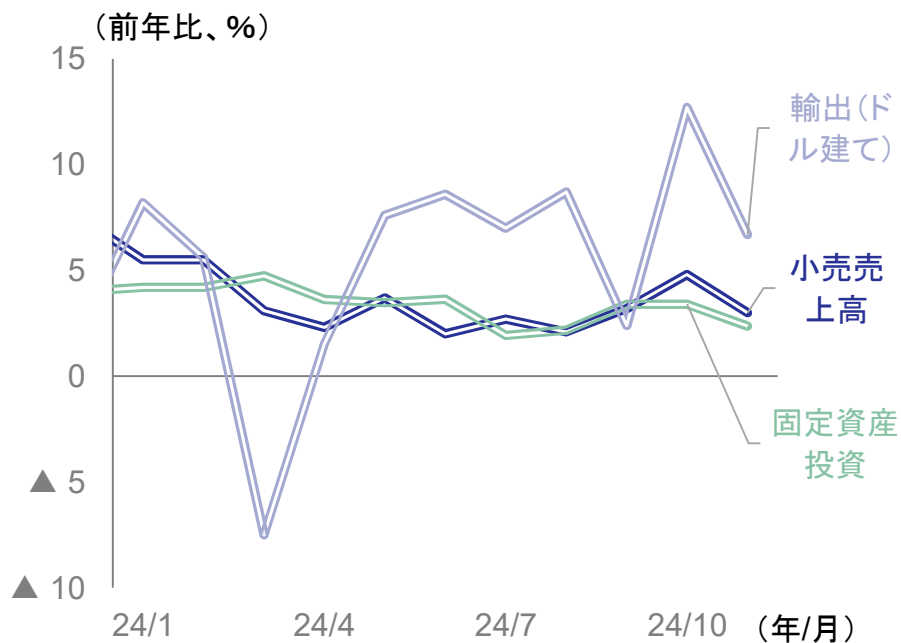
- 2024年7～9月期の実質GDP成長率は前年比+4.6%と、前期（同+4.7%）から小幅減速
 - 純輸出が寄与度（+2.0%Pt）を大きく拡大させた一方、消費と投資は縮小。内需の低迷を外需が補う構図強まる
 - 景気は減速傾向が続く。政策効果を受けて9～10月に底入れの兆しを見せるも、11月は物足りない動き
- 2025年の景気は、不動産市場の調整継続で内需が伸び悩み、対中関税による外需下押しも加わり減速する見通し
 - トランプ新政権の追加関税によるGDP下押し効果は、2025年単年では▲0.2%Ptを見込む。①中国以外での完全代替生産の困難さと、②輸出企業の単価切り下げや人民元の減価が、対米輸出の下押しを一部相殺

実質GDP成長率



（出所）中国国家统计局、CEICより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

主要経済指標（小売・投資・輸出）

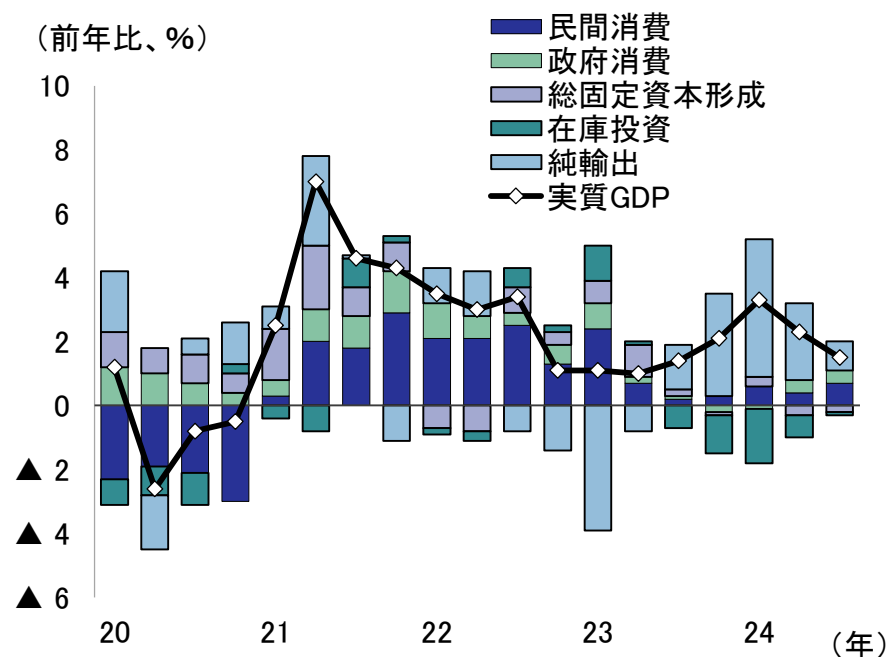


（注）固定資産投資はみずほリサーチ&テクノロジーズによる年初累計前年比からの推計値
（出所）中国国家统计局、CEICより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

韓国【2023年+1.4%、2024年+2.1%（予）、2025年+1.6%（予）】

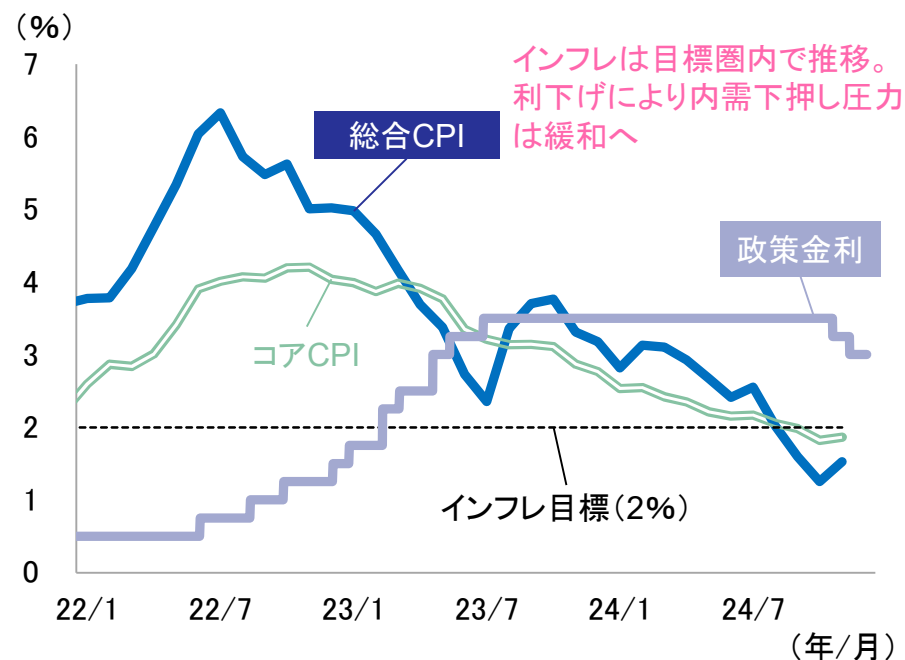
- 2024年7～9月期の実質GDP成長率は前年比+1.5%と前期（同+2.3%）から減速
 - 純輸出のプラス寄与が縮小。中国のPC需要低迷などがメモリ半導体輸出を下押し
 - 一方、民間消費は拡大。インフレ鎮静化による実質所得の改善が背景
- 2025年は米中経済の減速が逆風となるが、PC買い替え需要を受けた半導体需要の拡大が景気を下支えする見通し
 - 米国の対中関税は中国経済の減速を通じて韓国経済を下押しも、中国からの代替輸出の促進が影響を一部相殺
 - 韓国銀行はインフレ、通貨動向を警戒しつつ米国の利下げに追随する予想。金利低下で内需も徐々に持ち直しへ

実質GDP成長率



(出所) 韓国銀行より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

消費者物価指数(CPI)、政策金利

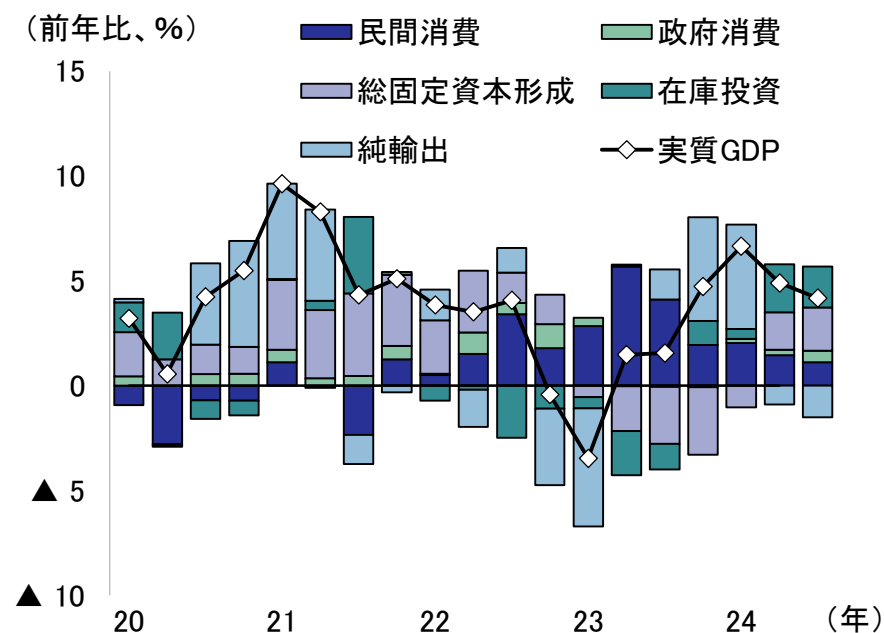


(出所) 韓国統計庁、韓国銀行、CEICより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

台湾【2023年+1.1%、2024年+4.1%（予）、2025年+1.7%（予）】

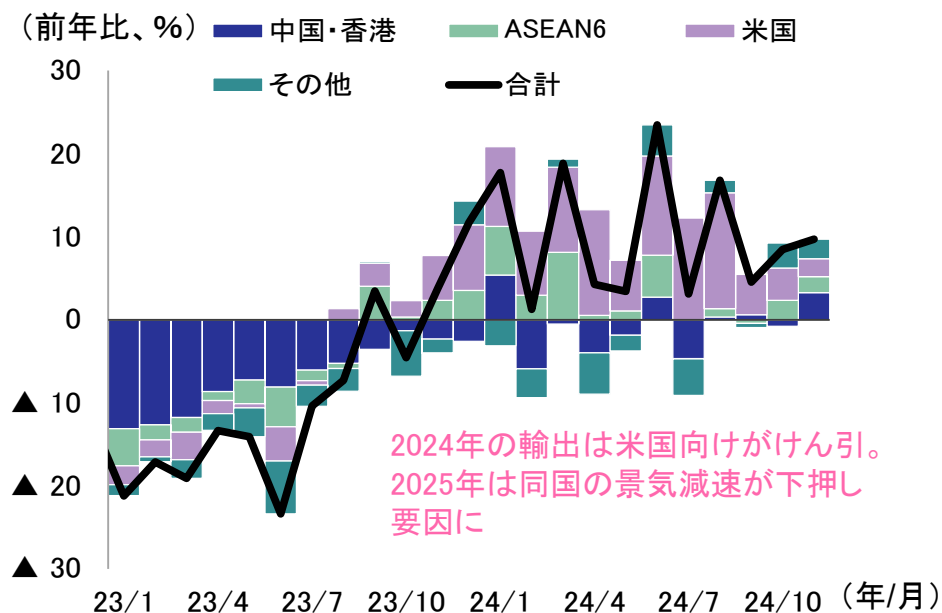
- 2024年7～9月期の実質GDP成長率は前年比+4.2%と、前期（同+4.9%）から減速したものの高い伸びを維持
 - 米国向けの先端半導体需要に支えられ輸出が堅調（設備購入等の輸入増により純輸出はマイナス）
 - 消費は引き続き減速。高金利環境下で消費の抑制が続いている様子
- 2025年も世界的な先端半導体需要を受け底堅い成長が見込まれるものの、米中の景気減速が下押し要因に
 - 米国の対中関税による中国経済の減速は台湾から同国への輸出減につながり景気を下押し
 - 一方、台湾のコスト競争力が相対的に向上し代替輸出が促進され、関税の下押し圧力は一部相殺される見通し

実質GDP成長率



（出所）台湾行政院主計総処、CEICより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

財輸出（仕向け先別）



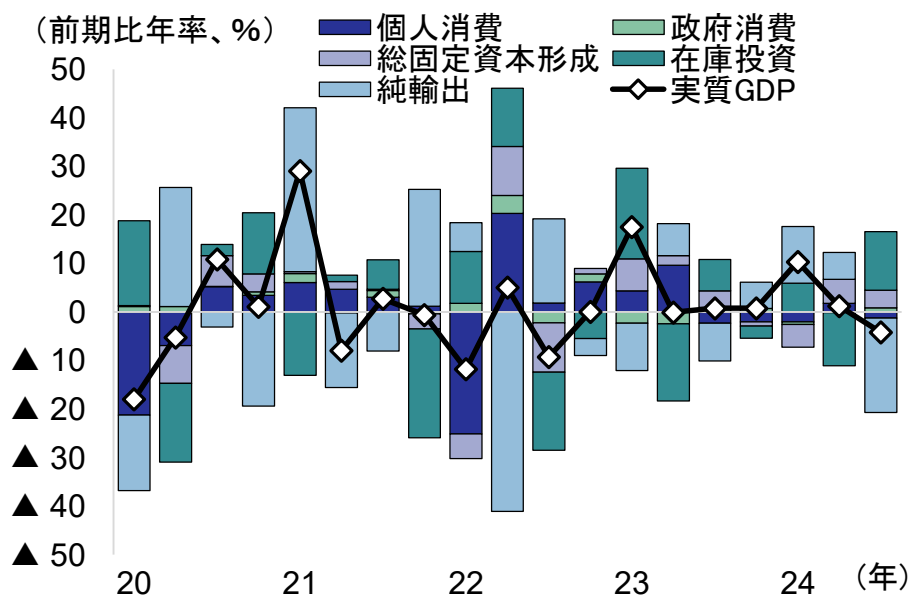
（注）ASEAN6はシンガポール、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム

（出所）台湾財政部、CEICより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

香港【2023年+3.3%、2024年+2.5%（予）、2025年+2.3%（予）】

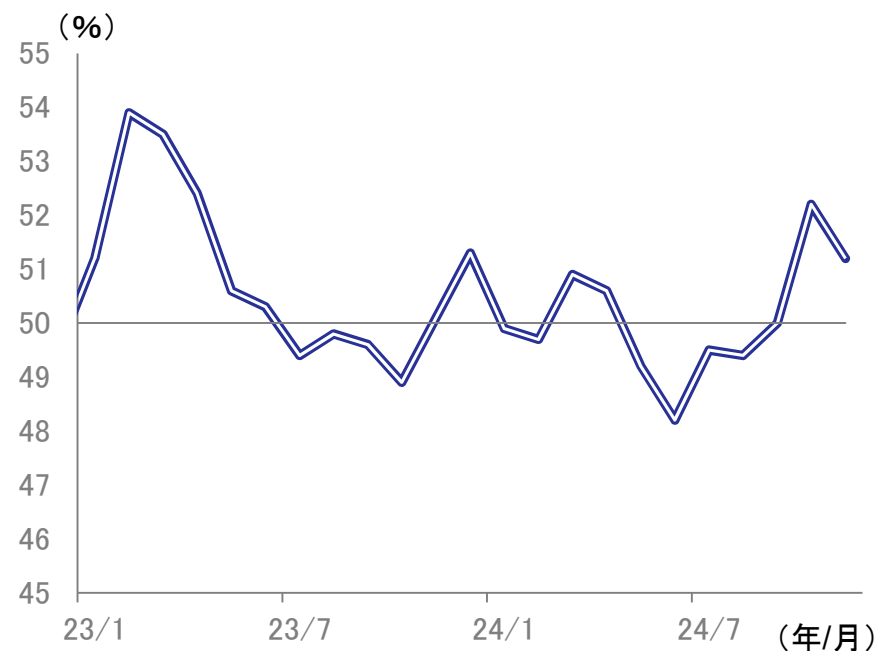
- 2024年7～9月期の実質GDP成長率は前期比年率▲4.2%と、前期（同+1.2%）からマイナス転化
 - 投資が持ち直すも、外需の急減速で純輸出が大幅なマイナス寄与に。個人消費も足を引っ張った
 - 10月以降は景況感が改善し、消費には底入れの兆し。通年の成長率は前年比+2.5%で着地見込み
- 2025年の景気は、GDPの7割を占める個人消費が持ち直しに転じることで、緩やかな回復が続く見通し
 - 米国に連動する金利の低下に伴い、民間投資は徐々に回復する見込み
 - ただし、米中貿易戦争の再燃・激化などに伴う中国経済の想定以上の減速により、景気が下振れするリスクも

実質GDP成長率



(注) 総固定資本形成はみずほリサーチ&テクノロジーズにて民間投資と公共投資に季節調整をかけた上で合算。在庫投資は総資本形成から総固定資本形成を減じた残差
(出所) 香港政府統計処、CEICより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

購買担当者景気指数(PMI)

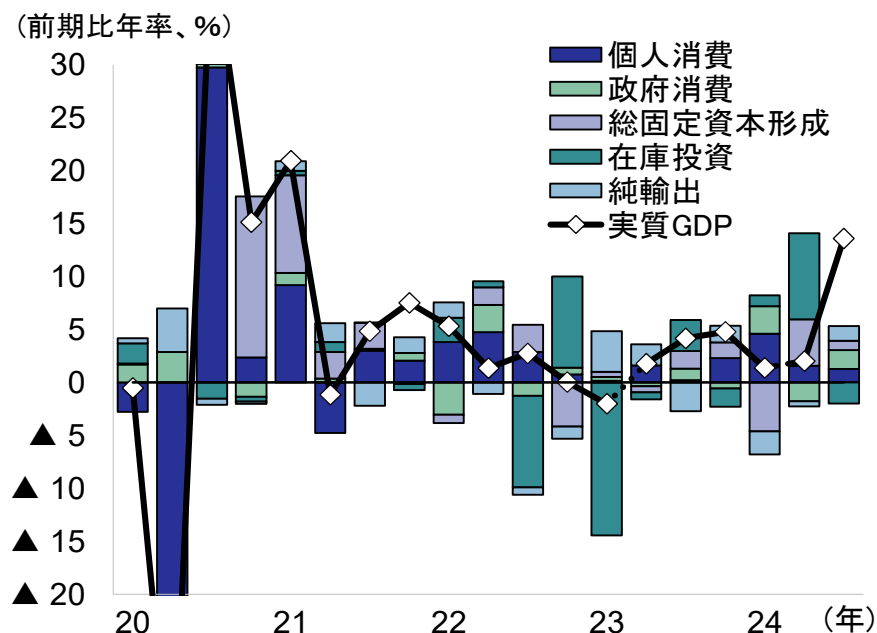


(出所) S&Pグローバル、LSEGより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

シンガポール【2023年+1.1%、2024年+3.2%（予）、2025年+1.9%（予）】

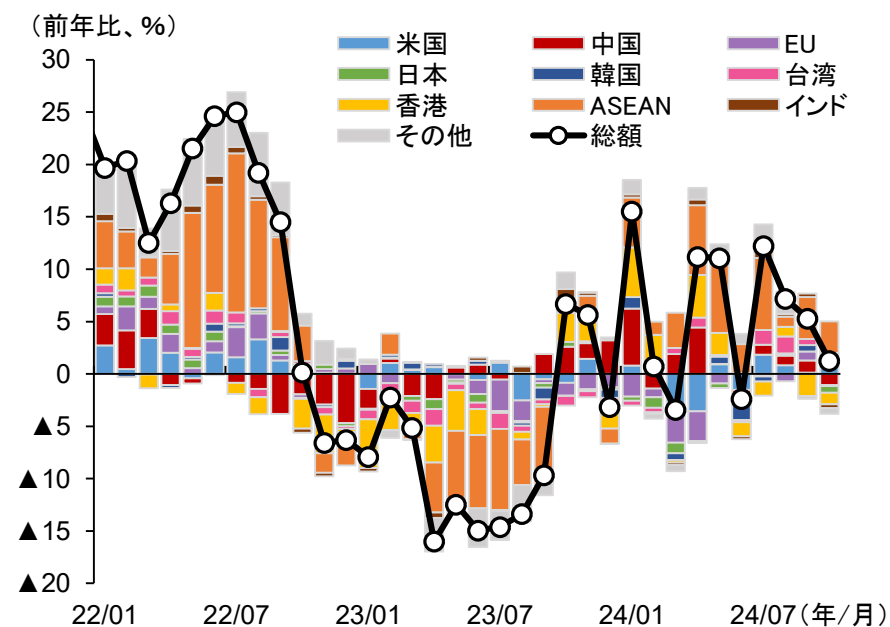
- 2024年7～9月期の実質GDP成長率は前期比年率+13.6%と前期から急拡大（前期：同+1.5%）
 - 不突合が大きい、電子製品を中心に財輸出の拡大が寄与した模様。産業別にみても製造業が大幅に押し上げ
 - 他方、消費や投資、サービス輸出は減速。貿易産業省は小売や外食・宿泊などの部門が停滞と指摘
- 先行きは米国経済の減速から財輸出の拡大が一服し、巡航速度の成長ペースに向けて減速する見通し
 - 財輸出はASEAN向けを中心に拡大。ASEANからの米国向け輸出拡大の恩恵を間接的に受けていた可能性
 - 先行きは米国経済の減速が輸出拡大の重石に。足元、製造業企業の先行き見通し（半年先）は広範な業種で低下

実質GDP成長率



（注）統計の不突合により、GDPと各需要項目の合計は一致しない
 （出所）シンガポール統計局より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

財輸出（仕向先別）



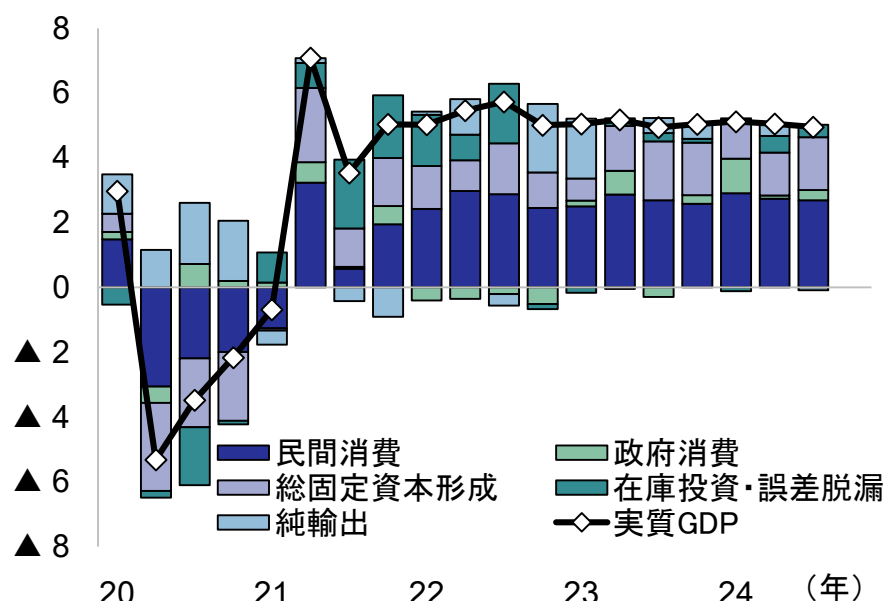
（注）再輸出を含む輸出総額
 （出所）CEIC dataより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

インドネシア【2023年+5.0%、2024年+5.0%(予)、2025年+4.8%(予)】

- 2024年7～9月期の実質GDP成長率は前年比+4.9%と前期(同: +5.0%)から小幅減速も、5%近傍の成長が持続
 - 良好な雇用環境や公共投資の拡大を背景に、個人消費と投資が底堅く推移
 - 産業別では、第2次産業(製造業、建設業など)が前年比+5.2%と前期(同: +4.6%)から加速
- 2025年は、政府支出や投資が景気を下支えも、通貨安懸念から利下げペースは緩やかと予想。消費の抑制要因に
 - 足元で、通貨ルピアは財政懸念や米大統領選を受けたドル高を背景に、過去最安値に迫る動き
 - 中銀はルピア相場を重視。金利の高止まりは自動車を中心に耐久財消費を抑制へ

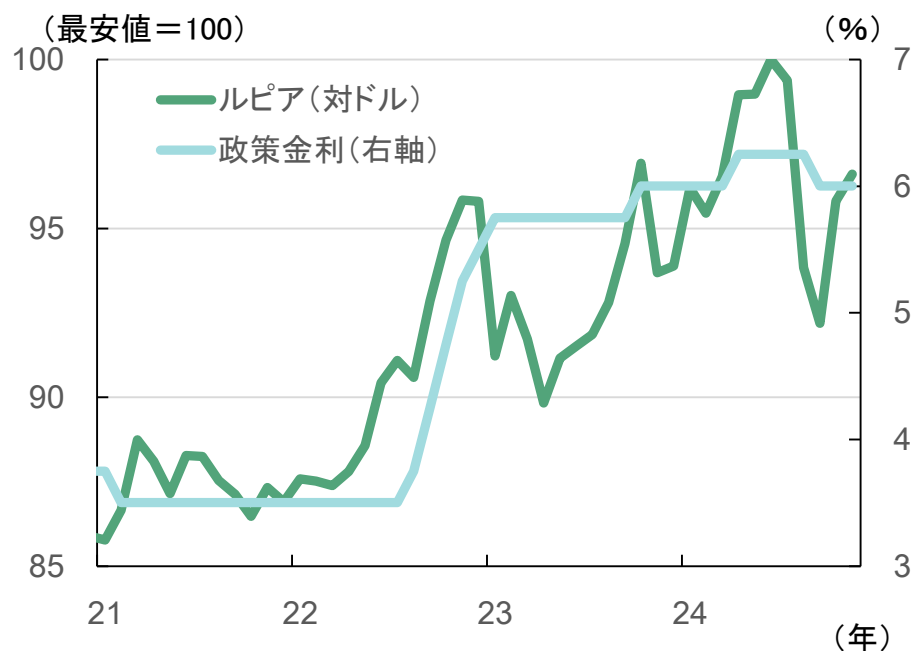
実質GDP成長率

(前年比、%)



(出所) インドネシア中央統計局より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

通貨と政策金利の動向

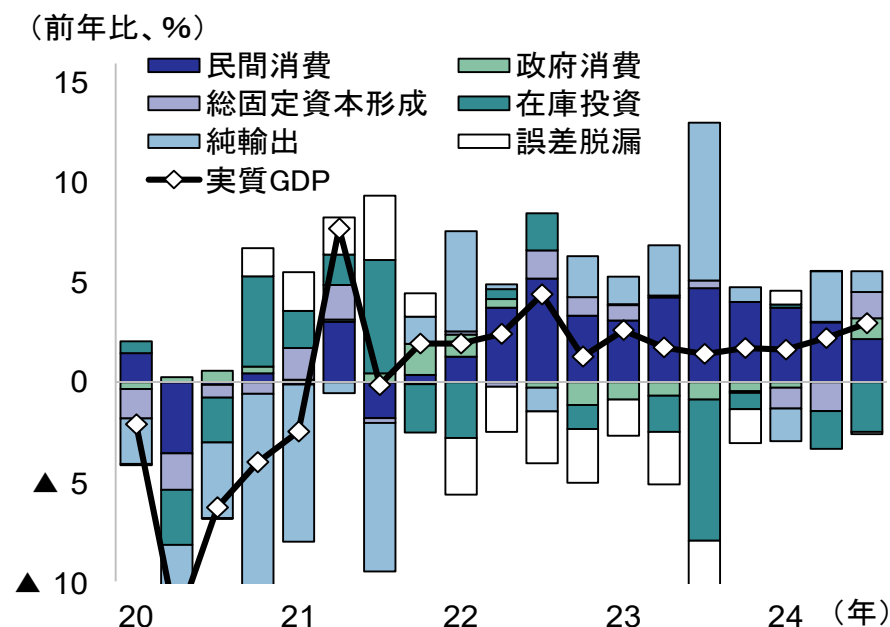


(出所) インドネシア銀行より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

タイ【2023年+1.9%、2024年+2.4%(予)、2025年+2.9%(予)】

- 2024年7～9月期の実質GDP成長率は前年比+3.0%と、前期(同: +2.2%)から伸びが加速
 - 政府消費や公共投資など公的支出のほか、電子機器を中心とした輸出の増加が押し上げに寄与
 - 一方、自動車ローン審査の厳格化や企業センチメントの悪化を背景に、個人消費や設備投資は低迷した
- 2025年は、政府による家計給付金(GDP比:2.5%)も押し上げ要因となり、景気は回復基調が続くと予想
 - 輸出は、電子機器を中心に回復が続く見込み。ただし、中長期的な輸出競争力の低下から回復ペースは緩やか
 - 内需は、家計給付金やタイ中銀の利下げが追い風も、家計債務の高止まりによる消費下押し圧力は残存

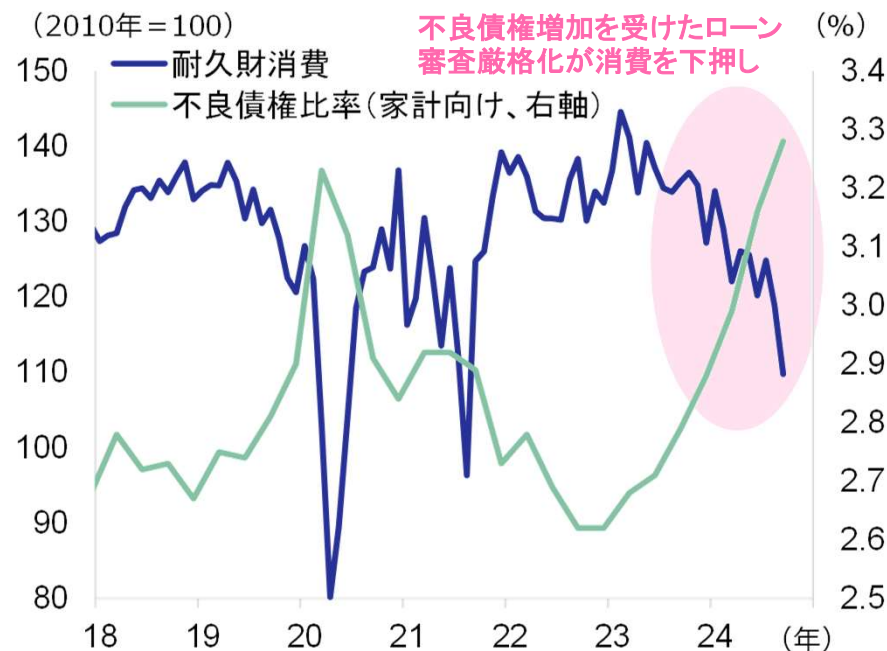
実質GDP成長率



(注) 誤差脱漏は、全体から各項目を控除した残差として計算

(出所) タイ国家経済社会開発委員会より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

耐久財消費と金融機関の不良債権比率

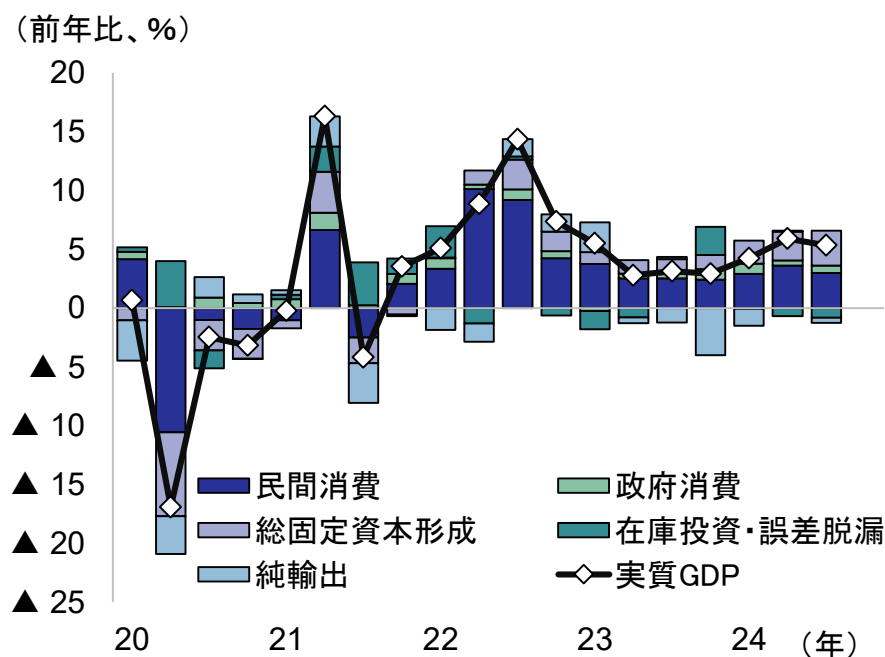


(出所) タイ中銀より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

マレーシア【2023年+3.6%、2024年+4.9%（予）、2025年+4.5%（予）】

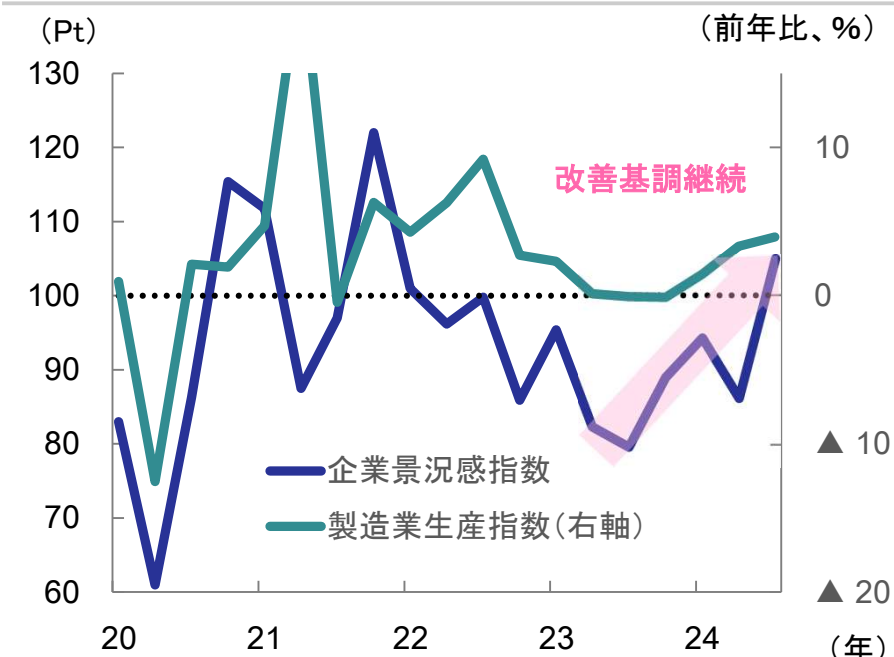
- 2024年7～9月期の実質GDP成長率は前年比+5.3%と、前期（同+5.9%）から減速もコロナ前平均を上回る成長
 - 堅調な投資に加え、労働市場の改善を背景に消費も底堅く推移
 - 財・サービスともに輸出は堅調に推移（輸入増で純輸出はマイナス寄与）
- 先行きは、先端産業の積極的な投資誘致を背景に投資や関連産業が堅調に推移。景気の回復は続く見込み
 - 2024年12月7日に、ペナン州がIC設計企業の誘致策を始動するなど、FDIを後押しする政策は継続
 - 企業の景況感改善基調継続。輸出の持ち直しに伴い、電機を中心に製造業生産も持ち直し

実質GDP成長率



（出所）マレーシア統計局より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

企業景況感と製造業生産の動向



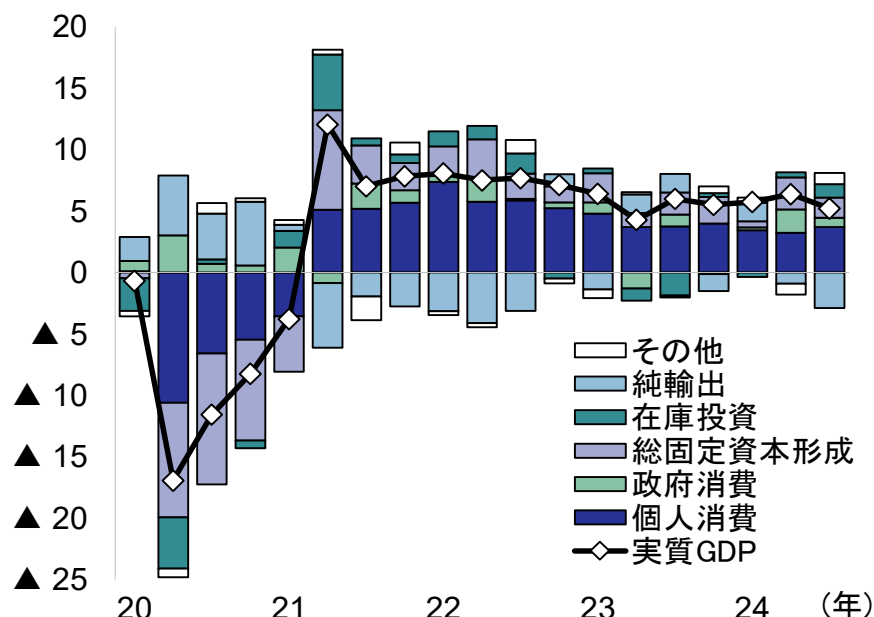
（出所）マレーシア統計局、マレーシア経済研究所より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

フィリピン【2023年+5.5%、2024年+5.6%（予）、2025年+5.8%（予）】

- 2024年7～9月期の実質GDP成長率は前年比+5.2%と減速（前期：同+6.4%）
 - 台風の影響を受け、総固定資本形成やサービス輸出（観光業）が一時的に減速
 - 一方、インフレ鈍化と中銀の利下げを背景に、消費者の購買意欲が高まり個人消費が持ち直し
- 輸出の持ち直しは鈍いが、中銀の利下げ継続で内需が回復し、2025年も5%台の成長を維持する見通し
 - 輸出の主力は汎用的な集積回路。AI向けがけん引する半導体市場の需要増からは恩恵を得られず
 - 中銀は25年も内需喚起を目的に利下げ継続を示唆。一方、異常気象による食品高や経済活動の停滞はリスク

実質GDP成長率

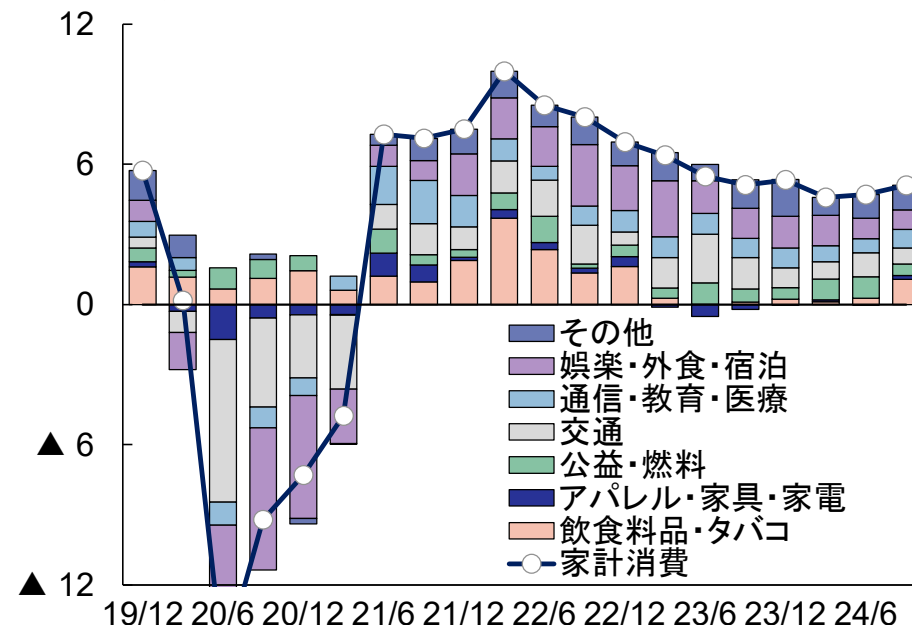
（前年比、%）



（出所）フィリピン統計機構より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

個人消費

（前年比、%）



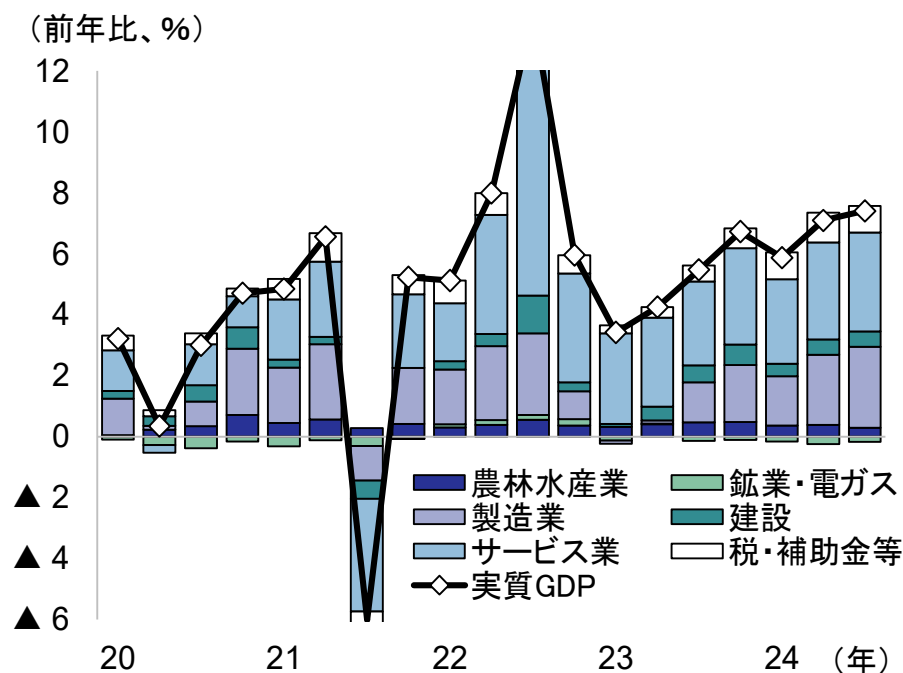
（出所）フィリピン統計機構より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

（年/月）

ベトナム【2023年+5.0%、2024年+6.4%（予）、2025年+6.2%（予）】

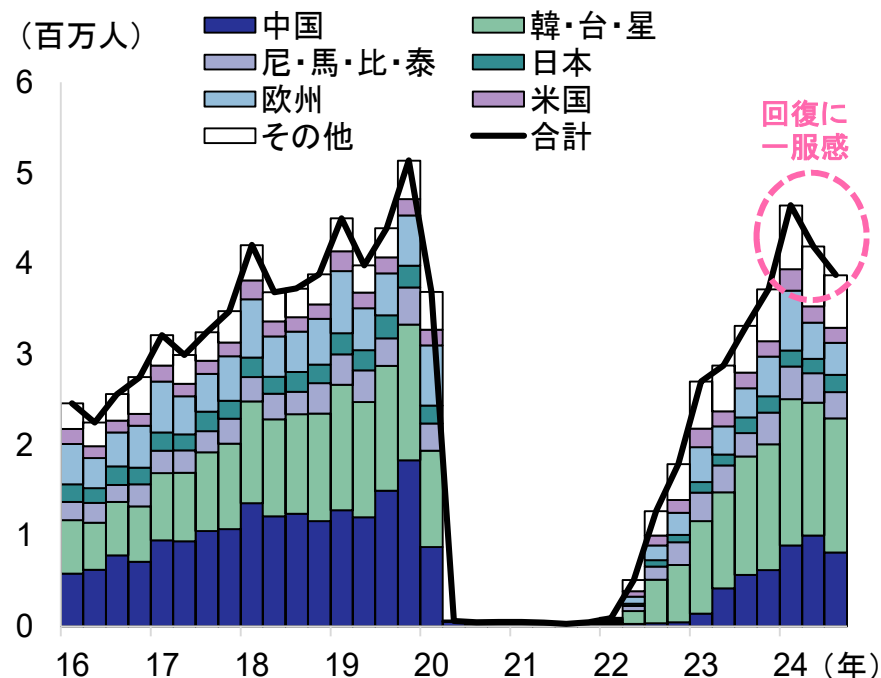
- 2024年7～9月期の実質GDP成長率は前年比+7.4%と、前期（+7.1%）から伸びが加速
 - 産業別では、電子機器を中心とした輸出の増加を背景に製造業が加速。一方でサービス業は、インバウンド客数の増勢が一服したこともあり、伸び悩んだ
- 2025年は、食料価格の高止まりが内需回復の重石となるも、輸出にけん引され景気は堅調が続くと予想
 - 輸出は、米中景気の減速が逆風となるも、電子機器の需要増や中国からの代替輸出を受け回復基調が続く公算
 - 一方、食料インフレの長期化から消費など内需は当面伸び悩む見込み

実質GDP成長率



（出所）ベトナム統計総局より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

インバウンド客数（原数値）

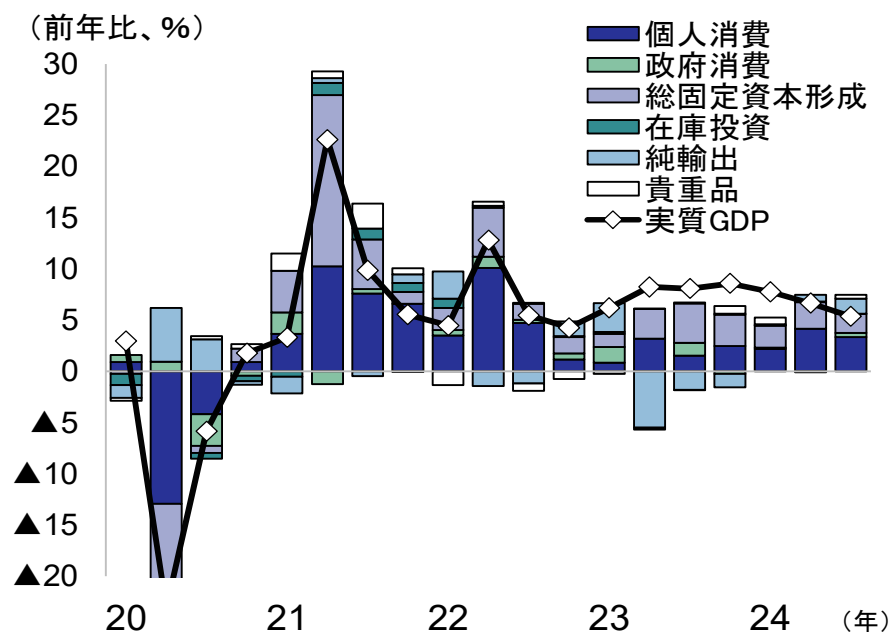


（出所）ベトナム統計総局より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

インド【2023年+7.7%、2024年+6.5%（予）、2025年+6.4%（予）】

- 2024年7～9月期の実質GDP成長率は、前年比+5.4%と前期（同+6.7%）から減速
 - 内訳を見ると、消費や総固定資本形成、輸出が減速
 - 7～8月にかけて発生した豪雨が消費や投資の短期的な押し下げ要因となった模様
- 先行きは、一時的な天候要因の剥落により、内需を中心に巡航速度並みの成長ペースへ回帰する見込み
 - インド準備銀による企業調査では、2024年末にかけて落ち込んだ景況感が2025年年央にかけ緩やかに持ち直し
 - 足元では食料価格が上昇。天候による一時的変動とみられるものの、消費の下振れリスクには留意が必要

実質GDP成長率



(注) 統計上の不突合により、GDPと各需要項目の合計は一致しない
(出所) インド統計計画実行省より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

企業景況感調査(インド準備銀行)

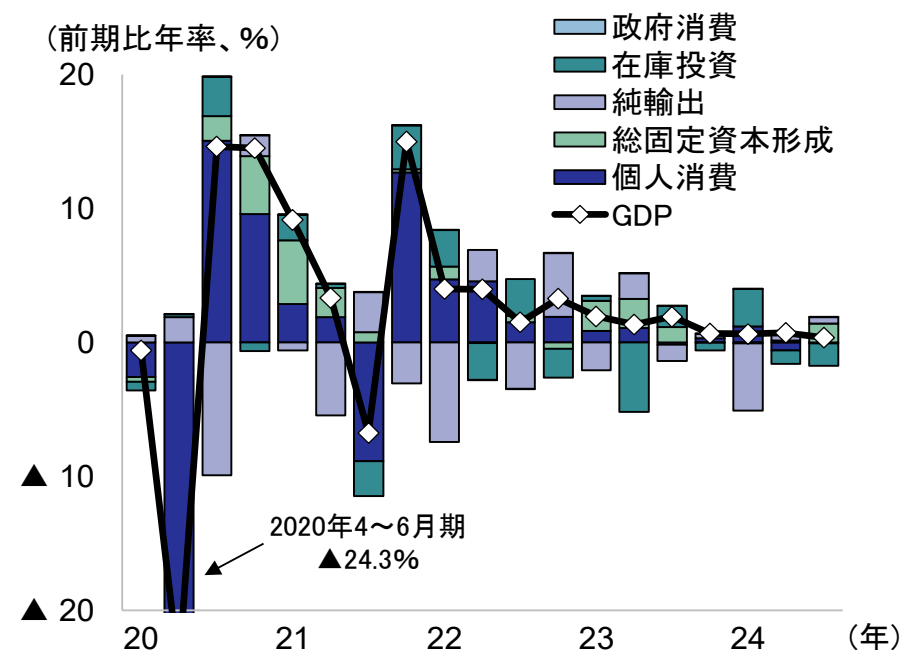


(注) 業況について「楽観」とした回答率から「悲観」とした回答率を差し引いたもの。2024年10～12月期以降の値は、2024年7～9月期時点での先行き期待を示す
(出所) インド準備銀行より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

オーストラリア【2023年+2.0%、2024年+1.1%（予）、2025年+1.6%（予）】

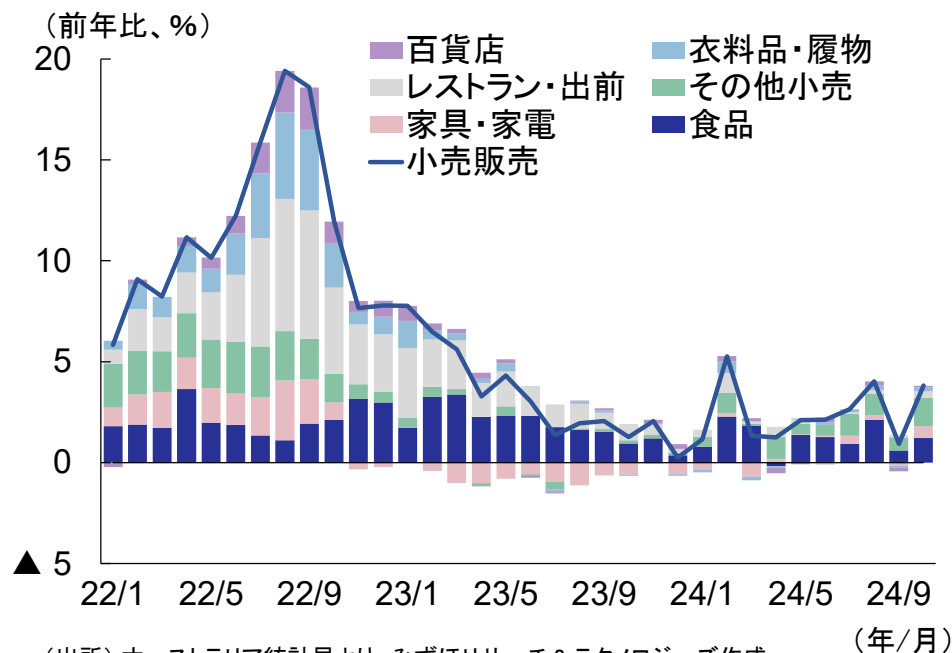
- 2024年7～9月期の実質GDP成長率は、前期比年率+0.4%と前期（同+0.9%）から再び減速
 - 公共事業投資（病院・道路建設）や政府支出（電気料金補助金支給に関わる費用）の増加で辛うじてプラス成長
 - 減税効果で消費は下げ止まりの兆しも、高金利で民間投資は抑制。外需も資源輸出がふるわず
- 2025年前半にかけて減税効果で消費は上向くが、高金利継続で民間投資は弱く、外需も冴えない展開が続く見込み
 - RBA（豪州準備銀）は、基調的なインフレが2025年も高止まりすると予想。25年前半は高金利を維持する公算大
 - 中国の対豪貿易制裁が2024年12月に全面解除されたが、中国の内需停滞から輸出の伸びは鈍いと予想

実質GDP成長率



（出所）オーストラリア統計局より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

小売統計

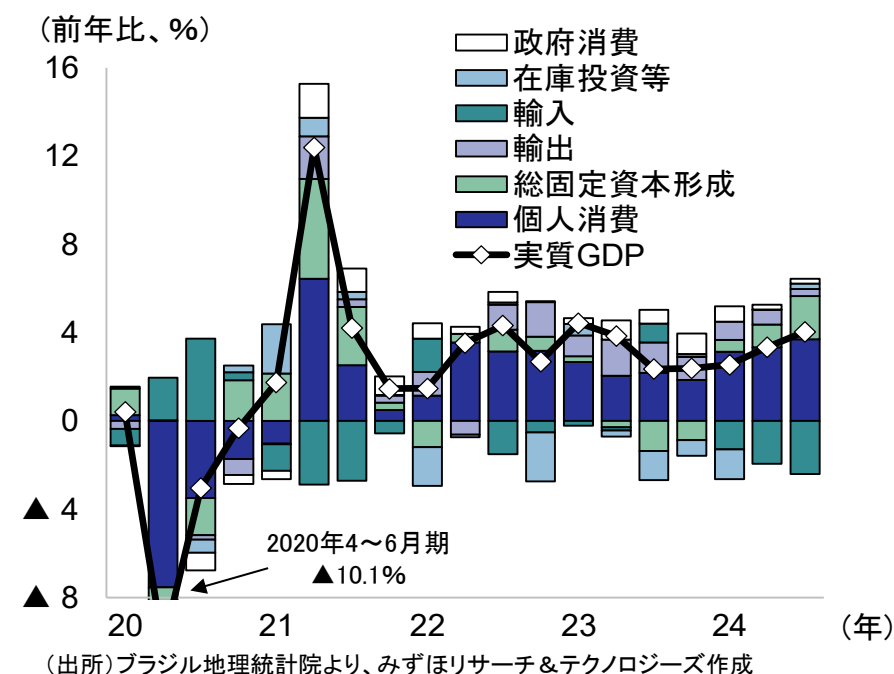


（出所）オーストラリア統計局より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

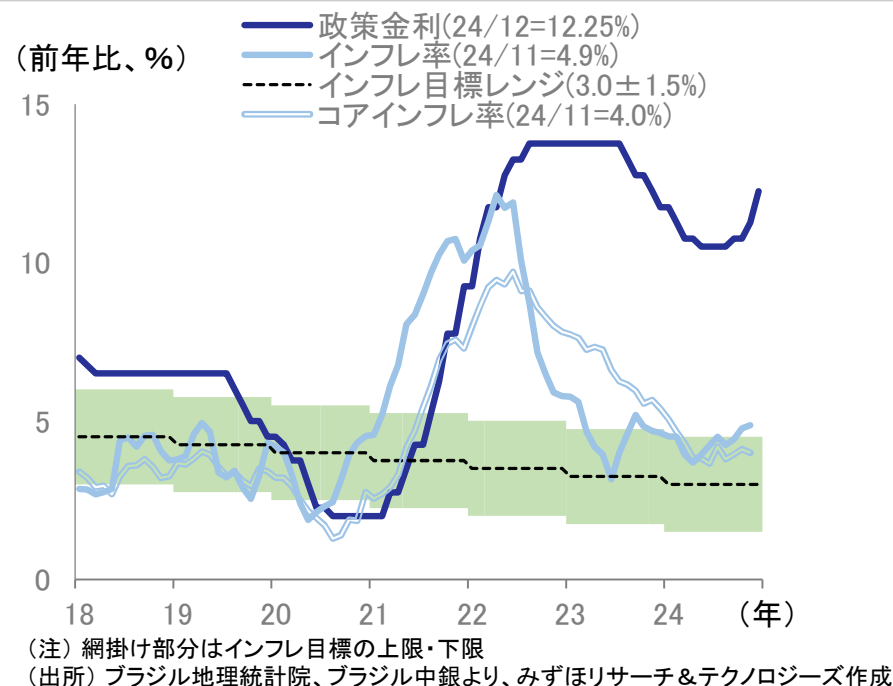
ブラジル～内需主導の景気拡大が続くが、インフレと金融引き締めで先行きは減速

- 2024年7～9月期の実質GDP成長率は前年比+4.0%と前期(同+3.3%)を上回った
 - 雇用や所得の底堅さを背景に個人消費や投資が成長をけん引
 - 産業別では、干ばつの影響で農業の停滞が続くが、製造業やサービス業が幅広い産業で伸びを拡大
- ただし、2025年はインフレの高止まりと高金利環境の継続で内需が減速し、緩やかな成長にとどまる見込み
 - 中銀はインフレ再燃を警戒し24年9月に利上げを再開。12月会合では100bps利上げし、引き締めペースを加速
 - 政府の財政拡大への懸念から通貨レアルが下落傾向。輸入物価上昇を通じてインフレを助長する可能性に留意

実質GDP成長率



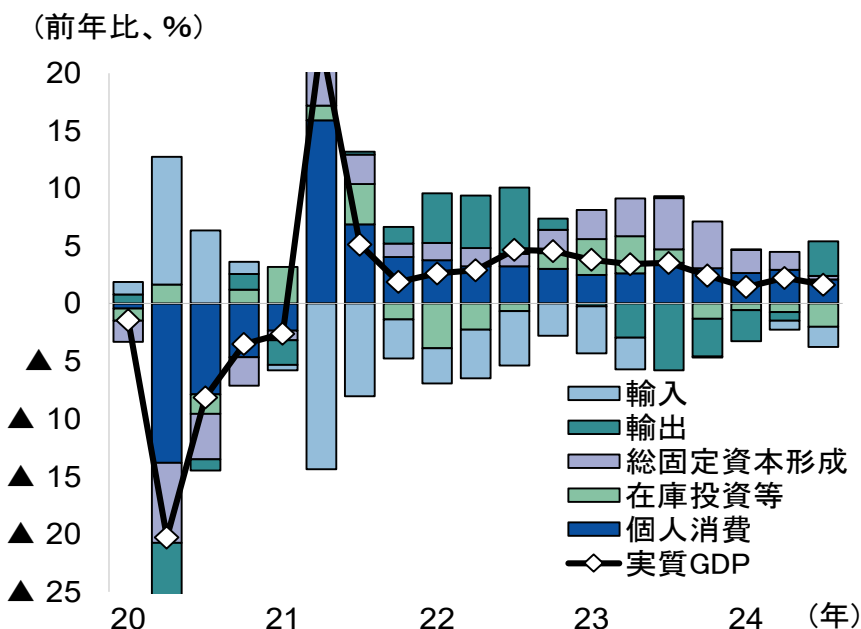
インフレ率・政策金利



メキシコ～2025年は米新政権の関税政策で一段と減速する見込み

- 2024年7～9月期の実質GDP成長率は前年比+1.6%と再び減速(前期:同+2.2%)
 - 高金利環境の長期化を背景に個人消費や投資は伸び悩み。一方、輸出は米国市場の需要増から大幅に回復
 - 産業別には干ばつを脱した農業が回復に転じたほか、製造業も伸びを拡大。一方、高金利環境で不動産が減速
- 2025年は、米国次期政権の対墨関税政策による貿易縮小を主因に、減速する見通し
 - 米新政権は対墨関税25%を課す意向。価格競争力の低下に伴う輸出減少を通じて国内経済に打撃
 - 中銀アンケート調査では、対外政策に加え墨政府の司法改革や財政拡張的な政策も先行きの懸念事項との指摘

実質GDP成長率



(出所) 国立統計地理情報院より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

先行き半年間の経済成長における懸念事項: 上位10項目

	集計順位	
	9月調査	12月調査
公共の安全問題	2	1
法治国家の欠如	2	2
国内の政治的不確実性	1	3
国内経済に関する不確実性	4	4
外国貿易政策	14	5
国内の構造改革の欠如	5	5
国際的な政治的不安定性	13	7
犯罪行為への不処罰	5	7
汚職	8	9
財政支出	8	10

(注) 中銀による現地エコノミスト等へのアンケート調査結果。回答者は選択肢から3つを選択。シャドー は12月調査で集計順位が上がった項目

(出所) メキシコ中央銀行より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

経済指標① 名目GDP、1人当たりGDP、人口

	中国			韓国			台湾			香港			シンガポール		
	名目GDP (億ドル)	人口 (百万人)	1人あたり GDP(ドル)	名目GDP (億ドル)	人口 (百万人)	1人あたり GDP(ドル)	名目GDP (億ドル)	人口 (百万人)	1人あたり GDP(ドル)	名目GDP (億ドル)	人口 (百万人)	1人あたり GDP(ドル)	名目GDP (億ドル)	人口 (百万人)	1人あたり GDP(ドル)
21年	177,593	1,412.6	12,572	19,423	51.8	37,518	7,730	23.4	33,071	3,690	7.4	49,849	4,341	5.5	79,601
22年	178,485	1,411.8	12,643	17,994	51.7	34,822	7,609	23.3	32,610	3,587	7.5	48,000	4,985	5.6	88,429
23年	177,580	1,409.7	12,597	18,391	51.7	35,563	7,557	23.3	32,404	3,808	7.5	50,587	5,014	5.9	84,734

	インドネシア			タイ			マレーシア			フィリピン			ベトナム		
	名目GDP (億ドル)	人口 (百万人)	1人あたり GDP(ドル)	名目GDP (億ドル)	人口 (百万人)	1人あたり GDP(ドル)	名目GDP (億ドル)	人口 (百万人)	1人あたり GDP(ドル)	名目GDP (億ドル)	人口 (百万人)	1人あたり GDP(ドル)	名目GDP (億ドル)	人口 (百万人)	1人あたり GDP(ドル)
21年	11,865	272.7	4,351	5,063	70.0	7,238	3,738	32.6	11,474	3,941	110.1	3,580	3,701	98.5	3,757
22年	13,191	275.7	4,784	4,956	70.1	7,072	4,076	32.7	12,483	4,044	110.9	3,645	4,080	99.5	4,102
23年	13,712	278.7	4,920	5,148	70.2	7,336	3,997	33.1	12,091	4,371	111.9	3,906	4,337	100.3	4,324

	インド			ブラジル			メキシコ			(参考)日本		
	名目GDP (億ドル)	人口 (百万人)	1人あたり GDP(ドル)	名目GDP (億ドル)	人口 (百万人)	1人あたり GDP(ドル)	名目GDP (億ドル)	人口 (百万人)	1人あたり GDP(ドル)	名目GDP (億ドル)	人口 (百万人)	1人あたり GDP(ドル)
21年	31,673	1,407.6	2,250	16,707	210.1	7,952	13,131	129.0	10,180	50,399	125.5	40,161
22年	33,535	1,417.2	2,366	19,518	210.9	9,256	14,633	130.0	11,260	42,719	125.1	34,158
23年	35,676	1,428.6	2,497	21,737	211.7	10,268	17,888	131.1	13,641	42,198	124.5	33,899

(注) 一部の地域・年はIMFによる推計値。なお、GDPデータはインドは年度データ(詳細はIMFのHP参照)
(出所) IMF “World Economic Outlook Database October 2024” より、みずほリサーチ & テクノロジーズ作成

経済指標② 実質GDP成長率(前年比、%)

	中国	韓国	台湾	香港	シンガポール	インドネシア	タイ	マレーシア	フィリピン	ベトナム	インド
21年	8.4	4.6	6.7	6.5	9.7	3.7	1.6	3.3	5.7	2.6	9.4
22年	3.0	2.7	2.7	-3.7	3.8	5.3	2.5	8.9	7.6	8.1	6.5
23年	5.2	1.4	1.1	3.3	1.1	5.0	1.9	3.6	5.5	5.0	7.7
22年10-12月	2.9	1.1	-0.4	-4.3	2.4	5.0	1.3	7.4	7.1	6.0	4.3
23年1-3月	4.5	1.1	-3.5	2.8	0.5	5.0	2.6	5.5	6.4	3.4	6.2
4-6月	6.3	1.0	1.5	1.6	0.5	5.2	1.8	2.8	4.3	4.2	8.2
7-9月	4.9	1.4	1.6	4.2	1.0	4.9	1.4	3.1	6.0	5.5	8.1
10-12月	5.2	2.1	4.7	4.3	2.2	5.0	1.7	2.9	5.5	6.7	8.6
24年1-3月	5.3	3.3	6.6	2.8	3.0	5.1	1.6	4.2	5.8	5.9	7.8
4-6月	4.7	2.3	4.9	3.2	3.0	5.0	2.2	5.9	6.4	7.1	6.7
7-9月	4.6	1.5	4.2	1.8	5.4	4.9	3.0	5.3	5.2	7.4	5.4

	オーストラリア	ブラジル	メキシコ
21年	5.4	4.8	6.0
22年	4.1	3.0	3.7
23年	2.0	3.2	3.3
22年10-12月	2.9	2.7	4.6
23年1-3月	2.8	4.4	3.8
4-6月	2.0	3.9	3.4
7-9月	2.2	2.4	3.5
10-12月	1.2	2.4	2.4
24年1-3月	1.2	2.6	1.4
4-6月	1.1	3.3	2.2
7-9月	0.9	4.0	1.6

(出所) 韓国中央銀行、台湾行政院主計総処、香港政府統計処、シンガポール統計局、タイ国家経済社会開発委員会、マレーシア統計局、インドネシア中央統計局、フィリピン統計機構、中国国家统计局、ベトナム統計総局、インド統計計画実行省、オーストラリア統計局、ブラジル地理統計院、メキシコ国立統計地理情報院より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成、データは12月18日時点

経済指標③ 消費者物価上昇率(前年比、%)

	中国	韓国	台湾	香港	シンガポール	インドネシア	タイ	マレーシア	フィリピン	ベトナム	インド
21年	0.9	2.5	2.0	1.6	2.3	1.6	1.2	2.5	3.9	1.8	4.6
22年	2.0	5.1	2.9	1.9	6.1	4.2	6.1	3.4	5.8	3.2	6.7
23年	0.2	3.6	2.5	2.1	4.8	3.7	1.2	2.5	6.0	3.3	5.7
23年12月	-0.3	3.2	2.7	2.4	3.7	2.8	-0.8	1.5	3.9	3.6	5.7
24年1月	-0.8	2.8	1.8	1.7	2.9	2.6	-1.1	1.5	2.8	3.4	5.1
2月	0.7	3.1	3.1	2.1	3.4	2.8	-0.8	1.8	3.4	4.0	5.1
3月	0.1	3.1	2.1	2.0	2.7	3.0	-0.5	1.8	3.7	4.0	4.9
4月	0.3	2.9	1.9	1.1	2.7	3.0	0.2	1.8	3.8	4.4	4.8
5月	0.3	2.7	2.2	1.2	3.1	2.8	1.5	2.0	3.9	4.4	4.8
6月	0.2	2.4	2.4	1.5	2.4	2.5	0.6	2.0	3.7	4.3	5.1
7月	0.5	2.6	2.5	2.5	2.4	2.1	0.8	2.0	4.4	4.4	3.6
8月	0.6	2.0	2.4	2.5	2.2	2.1	0.4	1.9	3.3	3.5	3.7
9月	0.4	1.6	1.8	2.2	2.0	1.8	0.6	1.8	1.9	2.6	5.5
10月	0.3	1.3	1.7	1.4	1.4	1.7	0.8	1.9	2.3	2.9	6.2
11月	0.2	1.5	2.1	-	-	1.5	0.9	-	2.5	2.8	5.5

	オーストラリア	ブラジル	メキシコ
21年	2.4	8.3	5.7
22年	6.5	9.3	7.9
23年	5.5	4.6	5.5
23年12月	3.4	4.6	4.7
24年1月	3.4	4.5	4.9
2月	3.4	4.5	4.4
3月	3.5	3.9	4.4
4月	3.6	3.7	4.7
5月	4.0	3.9	4.7
6月	3.8	4.2	5.0
7月	3.5	4.5	5.6
8月	2.7	4.2	5.0
9月	2.1	4.4	4.6
10月	2.1	4.8	4.8
11月	-	4.9	4.5

(出所) 韓国統計庁、台湾行政院主計総処、香港政府統計処、シンガポール統計局、タイ商務省、マレーシア統計局、インドネシア中央統計局、フィリピン統計機構、中国国家統計局、ベトナム統計総局、インド統計計画実行省、オーストラリア統計局、ブラジル地理統計院、メキシコ国立統計地理情報院より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成、データは12月18日時点

YouTube®動画「MHRT Eyes」を、より分かりやすくリニューアル！

複雑さ、変化の激しさを増す経済・金融動向…
エコノミスト・コンサルタントが旬な情報を
5分程度の動画でクイックに解説

MHRT Eyes

リニューアルして配信中！！

より分かりやすく、クイックに。毎週金曜日定期配信(週次版)でお届け

(定期配信に加え、タイムリーな情報も随時配信)

多数のエコノミストが国内外の注目トピックスを網羅
YouTube®動画で手軽に素早くインプット

MHRT Eyes

週次版

日本経済をどうみるか

—2024年は緩やかな回復基調の見通し—

MIZUHO

みずほリサーチ&テクノロジーズ

MHRT Eyes

週次版

金利・為替見通し(4月)

—日米のインフレ動向・金融政策に注目—

MIZUHO

みずほリサーチ&テクノロジーズ

(QRコードはデンソーウェブの登録商標です)



コンテンツ拡大中！>>>>

ご視聴・チャンネル登録お待ちしております！



みずほリサーチ&テクノロジーズ
公式YouTube®にて配信中

(「YouTube」はGoogle LLCの登録商標です)



エコノミスト・研究員

幅広い分野を網羅する専門家



PCの方は

<https://www.mizuho-rt.co.jp/business/research/economist/index.html>



調査レポート(無料)

経済・金融動向を解説

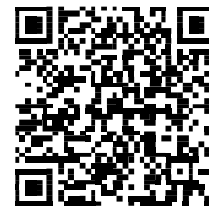


<https://www.mizuho-rt.co.jp/publication/index.html>



メールマガジン(登録無料)

レポート・動画配信をいち早くお知らせ！



ご登録はQRコード®をスキャンして頂くか、
ブラウザから下記URLを入力してください。
<https://www.mizuho-rt.co.jp/publication/others/0015.html>

お問い合わせ：
みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
調査部 メールマガジン事務局
<03-6808-9022>
<chousa-mag@mizuho-rt.co.jp>

<https://www.mizuho-rt.co.jp/publication/others/0008.html>

【執筆担当】

概況	江頭勇太	080-1069-4757	yuta.egashira@mizuho-rt.co.jp
中国・香港	月岡直樹	080-1069-6684	naoki.tsukioka@mizuho-rt.co.jp
韓国・台湾	鎌田晃輔	080-1069-4594	kosuke.kamata@mizuho-rt.co.jp
シンガポール・インド	田村優衣	+65-6805-3991	yui.tamura@mizuho-cb.com
タイ・ベトナム	江頭勇太	080-1069-4757	yuta.egashira@mizuho-rt.co.jp
インドネシア・マレーシア	西野洋平	080-1069-4774	yohei.nishino@mizuho-rt.co.jp
フィリピン・オーストラリア・ブラジル・メキシコ	亀卦川緋菜	080-1069-4688	hina.kikegawa@mizuho-rt.co.jp

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、ご自身の判断にてなされますようお願い申し上げます。また、本資料に記載された内容は予告なしに変更されることもあります。なお、当社は本情報を無償でのみ提供しております。当社からの無償の情報提供をお望みにならない場合には、配信停止を希望する旨をお知らせ願います。